

おひさまだより

令和3年11月1日発行



横手市婦気大堤字谷地添7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>

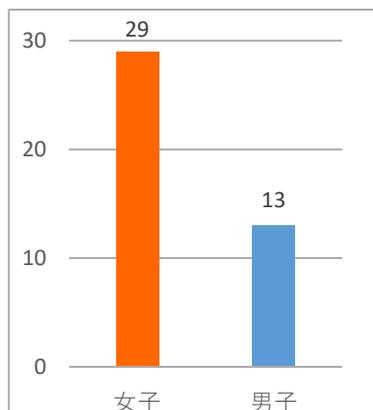


一段と日が暮れるのが早くなり、朝晩の冷え込みが晩秋の訪れを感じさせてくれます。衣服の調節をしながらこれからより寒くなる季節に負けず元気に過ごしていきたいですね。病児保育園おひさまでは2歳以上のお子さんにはマスクの着用をお願いしています。感染予防の為、ご協力よろしくお願いたします。

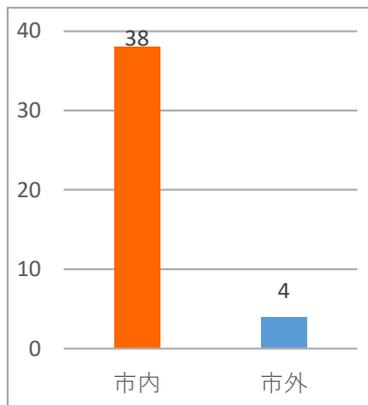
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 10月分

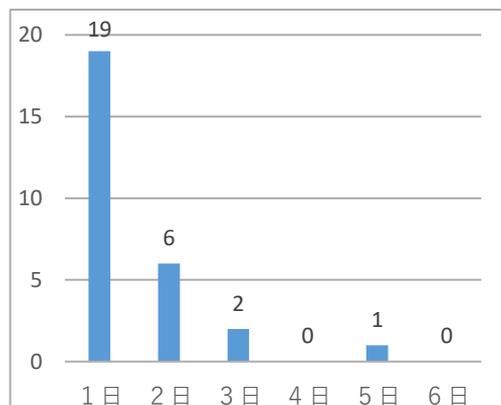
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	19	1	1	2	1	0	2	26
家庭の都合	1	0	0	0	0	0	0	1
便アデノウイルス	0	2	0	0	0	0	0	2
胃腸炎	1	0	0	0	0	0	0	1
突発性発疹	3	0	0	0	0	0	0	3
咽頭結膜熱	2	0	0	0	0	0	0	2
無熱性痙攣	1	0	0	0	0	0	0	1
RSウイルス	4	0	0	0	0	0	0	4
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	1
溶連菌感染症	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	32	3	1	3	1	0	2	42



※ 併発している疾患もすべて含む。

伊藤小児科・内科医院 感染症情報 10月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	1	0	0	0	8	0
咽頭結膜熱	2	1	3	4	2	12
溶連菌感染症	2	1	5	1	10	19
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	1	0	1	1	1	4
ノロウイルス	0	0	0	0	4	4
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0
合計	6	2	9	6	25	39

便秘のホームケア



おひさま看護師から



生活習慣を整え、大腸の運動のタイミングに合わせた 排便習慣を作りましょう

朝きちんと起きて食事を食べた後、大腸の運動は一番活発になります。また食事の30分後に大腸は大きく運動し便が出やすくなります。大腸の運動のタイミングでトイレに行く習慣をつくりましょう。

2.食事と水分を十分に摂りましょう

ある程度の量と出しやすい軟らかい便を作るために、食事と水分はとても重要です。栄養のあるバランスのとれた食事を十分に摂りましょう。

3.大きな便が肛門にある時は、医師と相談をして早めに出しましょう

肛門周囲に大きな便があると、子どもが痛いために排便をがまんしたり、嫌がるようになります。病院に受診して早めに出す方法を相談しましょう。

4.出しにくい硬い便になる前に排便を促しましょう

便が硬くなると排便の痛みから子どもはがまんしやすくなるため、出しにくい硬い便になる前に薬で治療することが大切です。



伊藤先生コラム

鼻水、鼻づまりの対処法



10月に入り、気温が急激に下がった影響で咳、鼻、熱で受診するお子さんが増えています。また、一部の保育園でRSウイルス感染症の流行も見られます。体調管理をしっかり行いましょう。

寒く空気が乾燥すると、特に夜は鼻水、鼻づまりの症状が出やすく乳児は鼻呼吸なため、寝苦しくなります。部屋の室温や湿度を高めにするとう症状が軽くなります。また、市販の器具で鼻吸いをすることも有効です。

